

大西さんには、京都大学基礎物理学研究所(基研)で旅立たれる直前まで 2 年間大変にお世話になりました。大西さんと最初にお話させていただいたときのことを覚えています。

2014年のドイツダルムシュタットでの国際会議 Quark Matter でした。共同研究でハドロン輸送模型 JAM を使わせていただき、幾つかのバグ修正を奈良さんに送る機会があったのですが、大西さんがその事を耳にされたのかわざわざ私を探し出して「JAM を直してくれたんだって。ありがとう」と声をかけて下さったのでした。その後も国際会議でお話させていただくこと、奈良さん中心のカスケード+流体の動的統合プロジェクトで議論させていただくことなどありました。最終的に、基研で研究員として採用していただき、2年間楽しく過ごさせていただきました。基研の原子核グループでは、昼時になると大西さんがグループの人を集めて食事に行くのが毎日の習慣でした。そこでは物理はもちろんのこと最近の世情などについて長々と話したものです。大西さんは家族や兄弟の話もよくされていました。研究面でも大西さんと共同研究を幾つかさせていただきました。特に、神野くん・奈良さんも含めた 4 人の共同研究は幾つか実を結び、今では更に様々な方向に展開しようとしているところです。大西さんの播いた種はこれからも実を結び、更に新しい研究にどんどん伝播して行くことでしょう。個人的には、大西さんには悩みも聞いていただき、折に触れて気にかけていただき、ご病気が判明した後にまで心配して下さることもあって、本当に感謝しています。天国では他の人のことばかりでなくご自愛ください。ご冥福をお祈りいたします。

村瀬 功一 (東京都立大学)